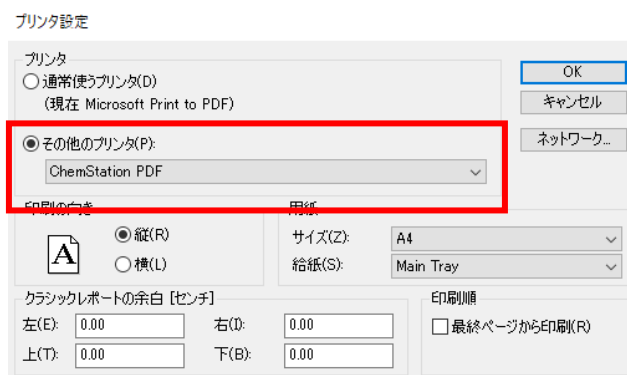
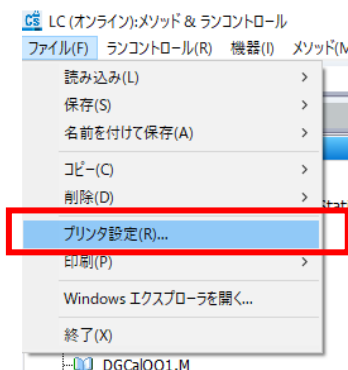


Autotune & Check tune手順

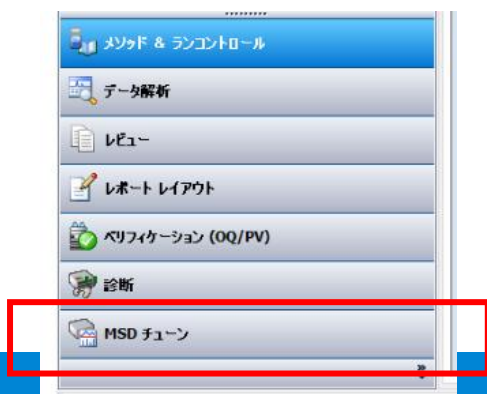
①キャリブラントがボトル内に充分入っていることを確認します。

②MSをスタンバイからONにします。

(補足) チューンレポートをPDFで出力したい場合は、③の前に
プリンタ設定から使用するプリンタを「ChemStation PDF」に設定しておきます。

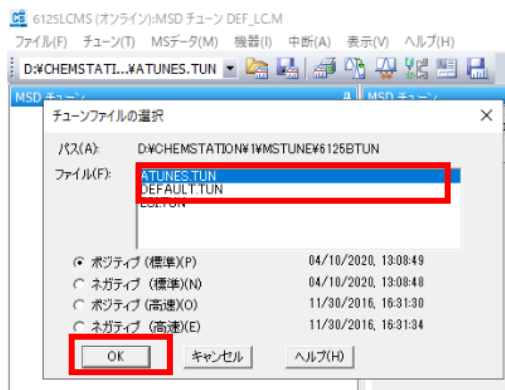


③MSDチューン画面に移動します。



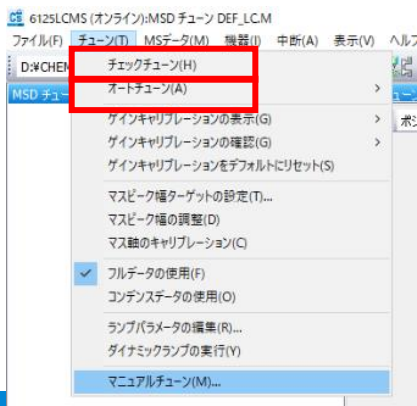
Autotune & Check tune手順

④ チューンファイルを選択します。



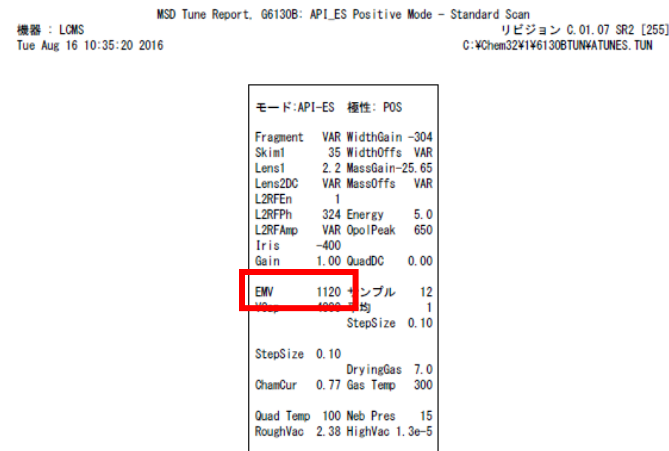
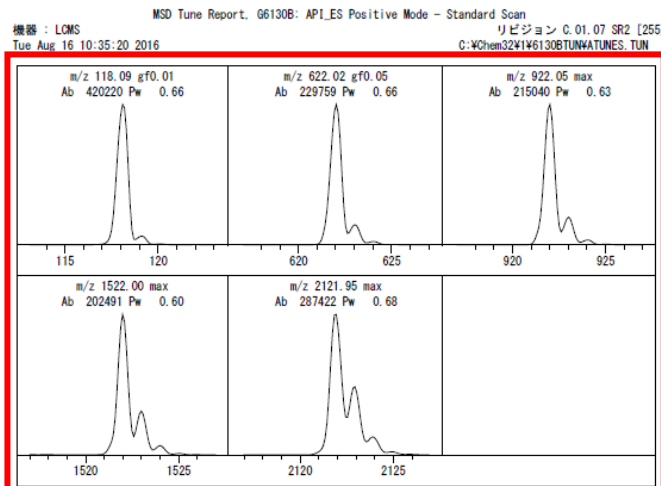
⑤ マニュアルチューンにてキャリブレーションのピークが出ていることを確認します。
(手順は後のページを参照ください)

⑥ オートチューンもしくはチェックチューンを選択します。

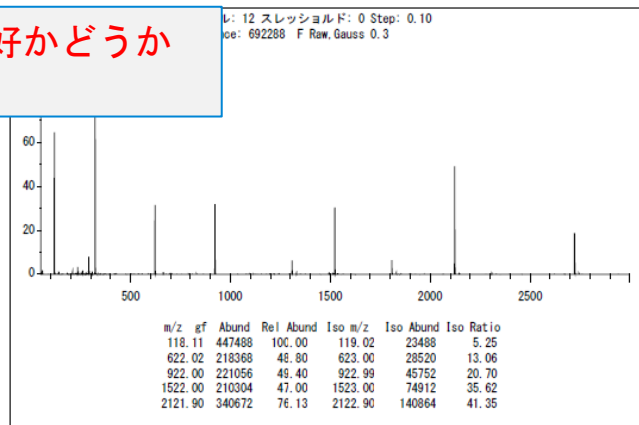


Autotune & Check tune手順

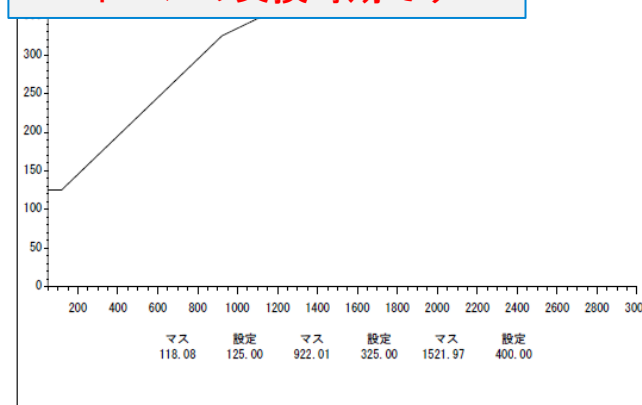
⑦チューニングが終わるとレポートが出力されます。



ピーク形状が良好かどうか
確認します

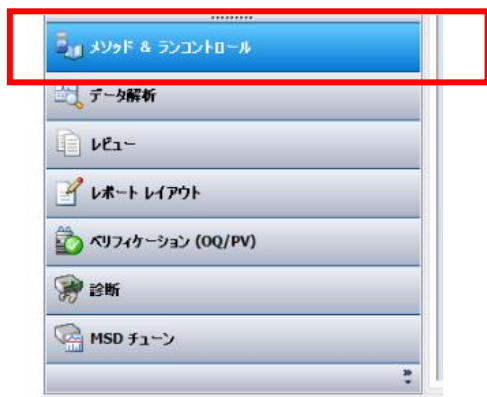


EMVが2500を超えると
EMホーンの交換時期です



Autotune & Check tune手順

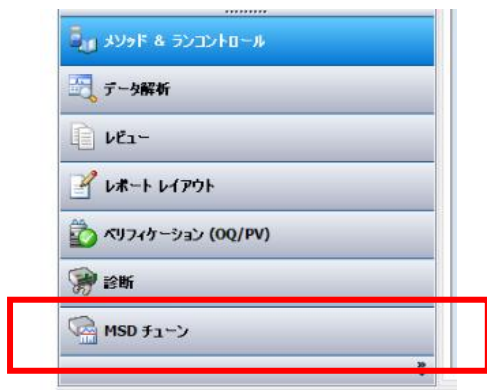
⑧メソッド&ランコントロール画面に移動します。



(補足) ソフトウェアのバージョンによってはチューン終了後もキャリブラントが流れ続けることがありますので、チューニング終了後早めにメソッド&ランコントロール画面に移動してください。

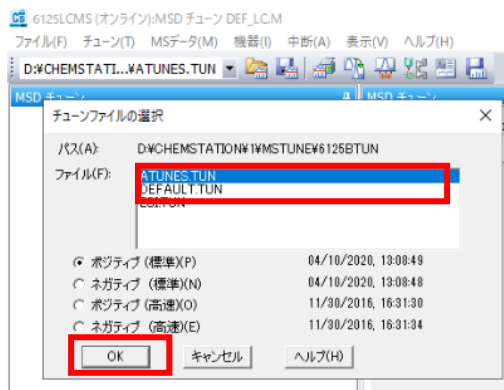
Manual tune手順

- ① キャリブメントがボトル内に充分入っていることを確認します。
- ② MSをスタンバイからONにします。
- ③ MSDチューン画面に移動します。

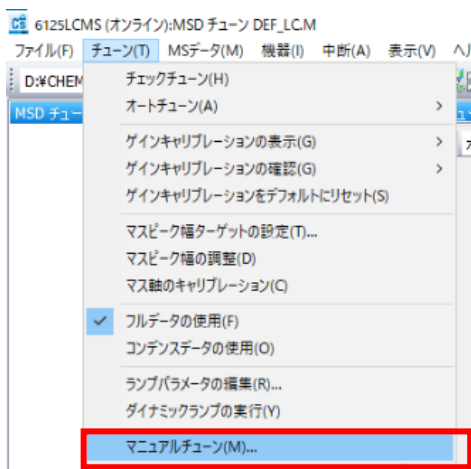


Manual tune手順

④ チューンファイルを選択します。



⑤ マニュアルチューンを選択します。



Manual tune手順

⑥その他のパラメータから以下3つを表示させ、キャリブラントをオンし、プロフィールを選択します。

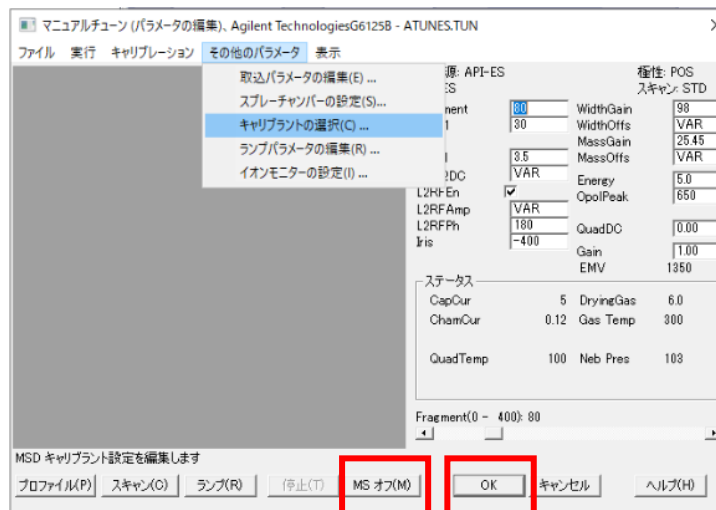
The screenshot shows the 'Manual Tune' process in OpenLab CDS ChemStation. The main window is 'マニュアルチューン (パラメータの編集), Agilent TechnologiesG6125B - ATUNES.TUN'. A menu is open with 'キャリブラントの選択(C) ...' highlighted. Below it, the 'プロファイル(P)' button is highlighted. A 'キャリブラントの選択' dialog box is open with 'オン(N)' selected. A '取得および表示パラメータ' dialog box is also open, showing mass scan parameters. The 'MS チューン Sprey Chamber' dialog box is open, showing ionization mode 'APF-ES' and various zone parameters.

OKは押さないでください
(表示が消えます)

Manual tune手順

⑦約60秒後プロファイルが開始され、キャリブ란트의ピークが検出されている事を確認します。

⑧MSオフ、OKの順にクリックします。



⑨メソッド&ランコントロール画面に移動します。



[注意事項]

- ・チューニング前にキャリブ rant がボトル内に充分入っていることを確認してください。
- ・オートチューンが途中で止まったり、ピーク形状が悪い、ピークが見えないなどの症状がある場合は、FAQ「オートチューンが通らない場合の対処法」をご確認ください。